

授業概要

証券市場について理論面と実践面の両面から指導します。前半においては、基本的な投資商品である債券や株式とはどのようなものかを講義します。債券は評価、イールドカーブ、信用スプレッド、その他複雑な仕組み債券等を、株式は市場の効率性、資本コスト、各種評価モデル、その他株式に準ずる証券等を、さらに、デリバティブはその概念、商品種類、活用方法、価値評価の考え方等を取扱います。後半においては、国際証券投資、証券ポートフォリオについて投資政策策定、評価手法、アセットアロケーション、オルタナティブ投資を講義します。また ESG 対応等のアップデートな動き、証券市場を巡る様々な問題やトピックにも適宜触れます。

授業計画

第 1 回	債券投資分析 1（現在価値による評価と債券の種類）
第 2 回	債券投資分析 2（イールドカーブ）
第 3 回	債券投資分析 3（社債と信用スプレッド）
第 4 回	債券投資分析 4（その他複雑な仕組みの債券）
第 5 回	株式投資分析 1（基本的な仕組み）
第 6 回	株式投資分析 2（資本コスト、市場の効率性）
第 7 回	株式投資分析 3（様々な株式評価モデル）
第 8 回	株式投資分析 4（その他株式に準ずる証券）
第 9 回	デリバティブ 1（概念、基本的な仕組みと商品、活用方法）
第 10 回	デリバティブ 2（価値評価の考え方、複雑なデリバティブ、規制）
第 11 回	国際証券投資
第 12 回	投資政策立案とパフォーマンス評価手法
第 13 回	アセットアロケーション
第 14 回	オルタナティブ投資 1（不動産、コモディティ等）
第 15 回	オルタナティブ投資 2（ヘッジファンド、プライベートエクイティ、ベンチャーファンド）
第 16 回	期末筆記試験

到達目標

- ・各種証券、投資の基礎的な理論を習得することができる。
- ・証券市場の現状を理解し分析できる思考力を身につけることができる。
- ・日本経済新聞の金融欄や証券欄、経済専門誌を読みこなし、要約することができる。

履修上の注意

わからない用語は必ず調べて曖昧にしないことを心掛けてください。また、高校程度までの数学の知識は必要ですが、理解できない算式は放置しないで質問してください。なお、スケジュールは進捗状況次第で変更し得ることをご理解ください。

予習・復習

復習が重要です。復習と課題提出に尽力してください。

評価方法

期末筆記試験 70%、毎講義後の課題 30%で評価します。

テキスト

資料を用意します。